

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-4-2									
事業名 市道中屋敷町青山一丁目2号線歩道改修事業									
事業費 総額 0.27億円 (国費 0.22億円) (内訳: 調査設計費 0.06億円, 工事費 0.21億円)									
事業期間 令和元年度～令和2年度									
<p>事業目的</p> <p>東日本大震災により住宅を失い、岩手県内陸部に避難し、みなし仮設住宅等に入居している被災者の居住の安定を図るため、災害公営住宅(県営南青山アパート)を盛岡市内に建設し、被災者用の恒久的な住宅を提供するのに併せ、周辺道路の歩道改修を行い、歩行者の安全性の確保と回遊性の向上による既存町内会周辺住民との交流促進を図るものである。</p> <p>事業地区</p> <p>盛岡市 南青山町及び大新町地区 ※別紙の図面・写真を参照</p>									
<p>事業結果</p> <p>○歩道改修工事 268m      ○歩道幅 1.0m      ○令和2年 11月供用</p>									
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>○ 今回、県営南青山アパートの建設にあわせ歩道の改修を実施したことにより、入居者の安全な通行を確保することができた。</p> <p>○ また、回遊性の向上により、地域住民との交流促進が図られ、良好なコミュニティ形成に資することが見込まれる。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>○ 盛岡市財務規則等に基づき契約手続きを行っており、事業費積算においては土木工事標準積算基準等の算定根拠を用いている。</p> <p>○ 作業日数の削減等コスト縮減に努めながら事業を進めた。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1" data-bbox="280 1435 1310 1565"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・設計</td> <td>令和元年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>令和2年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 順調に事業が進み、想定事業期間で工事完了することができた。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、事業手法・期間は妥当と判断する。</p>		想定事業期間	実際の事業期間	調査・設計	令和元年度	令和元年度	工事	令和2年度	令和2年度
	想定事業期間	実際の事業期間							
調査・設計	令和元年度	令和元年度							
工事	令和2年度	令和2年度							
<p>事業担当部局</p> <p>建設部道路建設課 電話番号: 019-626-7520</p>									

# 整備概要図・位置図

## 広域図



側溝蓋の浮き



歩道の傾斜



災害公営住宅(盛岡第一)

公民館・小学校等へのアクセス

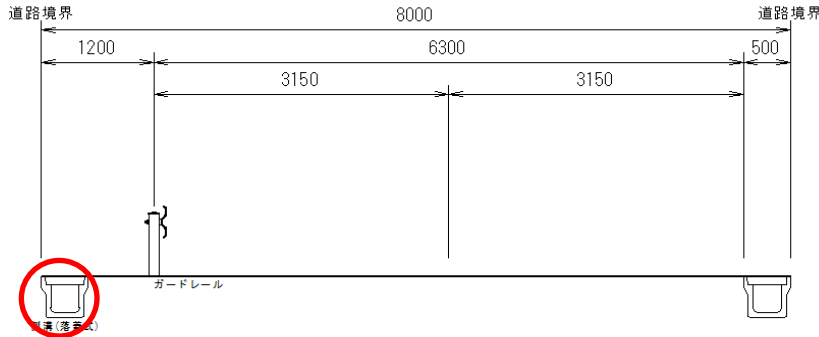
市道へのアクセス通路

整備実施箇所 L=260m

商業施設(徒歩15分)・老人福祉(徒歩10分)センターへのアクセス

# 整備内容について

## 現況

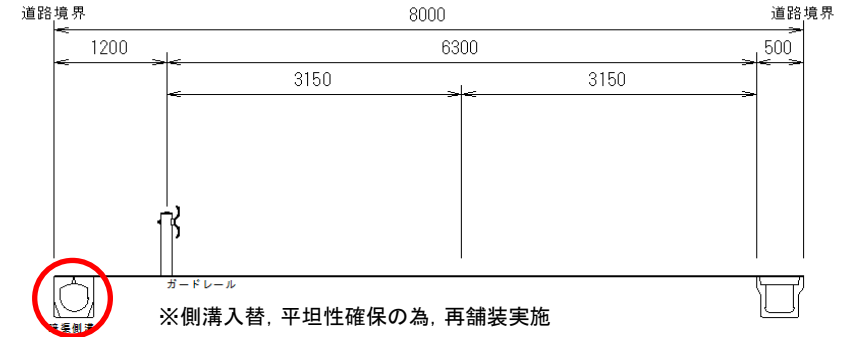


- ・現況 第4種第2級 1日の交通量9,000台程度
- ・道路構造令に照らすと、歩道2.5mが必要なところ、住宅等の道路沿いに多く建っているため拡幅は困難。  
(仮に2.5mまで拡幅すると62,400千円必要)
- ・盛岡第一住宅建設の地元説明会で「歩道が狭隘で安全が課題」との意見。



(現況)落蓋式側溝

## 改修後



### 排水構造物のタイプの変更

(現況)落蓋式側溝 →

(整備後)暗渠側溝 C=25,000千円

- ・蓋のないタイプに変更することにより、限られた空間を歩行空間として有効に活用するとともに、歩行者の安全を確保するため、平坦性の向上を図る。
- ・側溝入替えに伴い舗装剥ぎ取り、歩道の掘削が発生するため、再舗装を行う。



(整備後)暗渠側溝(イメージ)

【整備前】



【整備後】

